

2025年3月24日

各 位

会社名 朝日印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 朝日重紀
(コード番号 3951 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 広田敏幸
(TEL. 076-421-1177)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状分析と課題認識を行い、今後の方向性について決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2025年3月24日（月）

PBR
(株価純資産倍率)

=

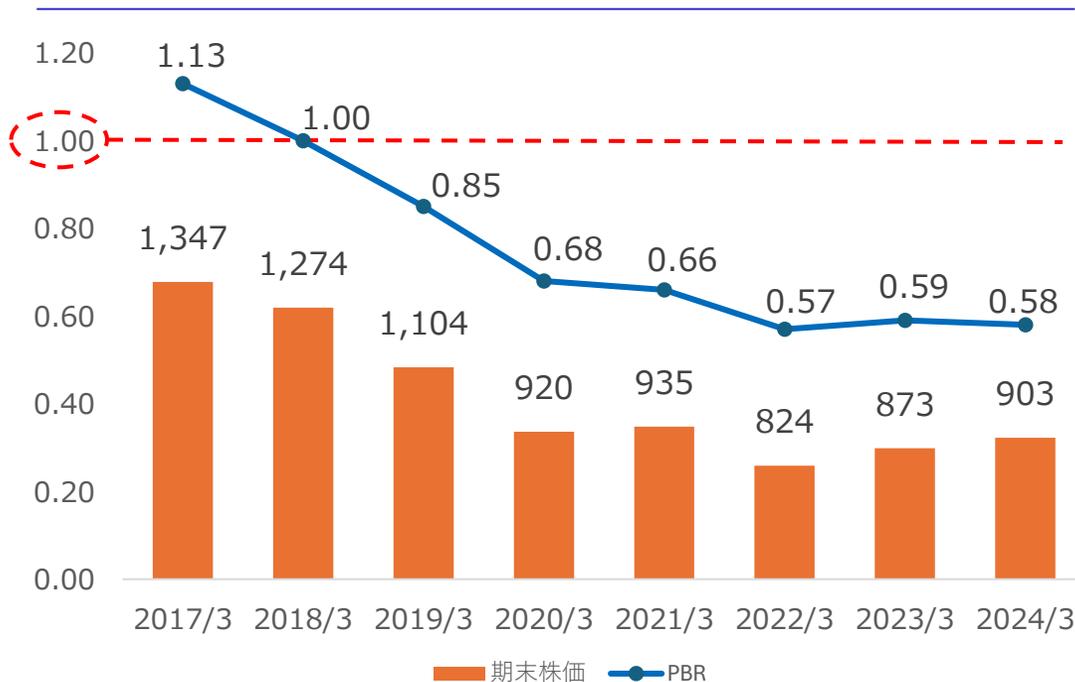
ROE
(自己資本利益率)

×

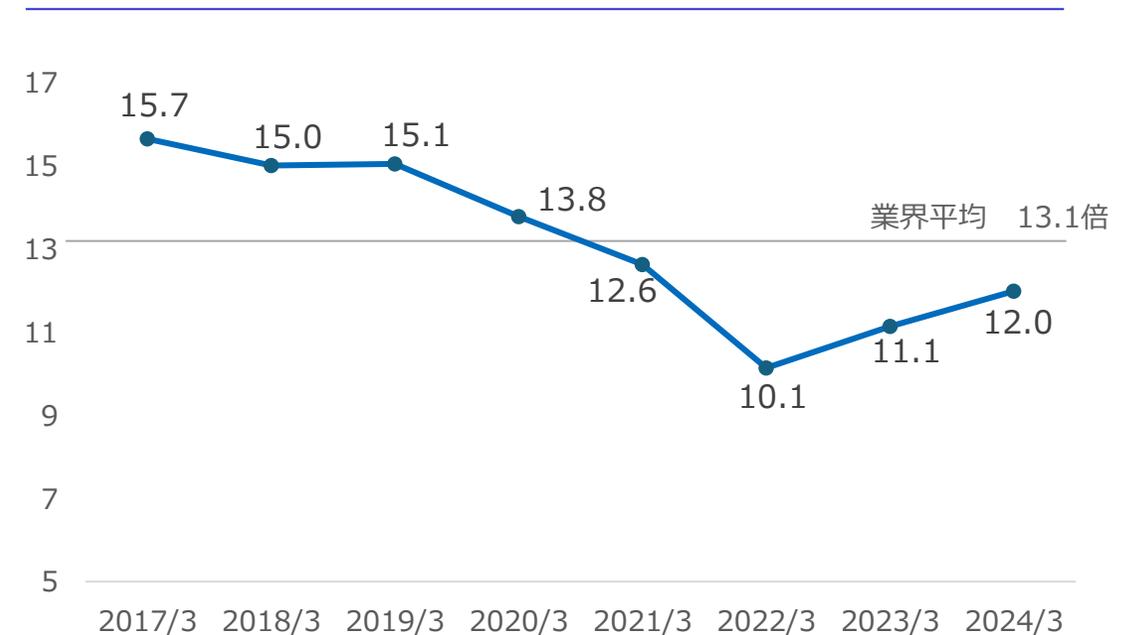
PER
(株価収益率)

- 当社のPBRは年々低下し、2019年以降、1倍割れが継続
- PBRの構成要素である、PERも低下しており、当社の成長期待が低い状態であると推察

PBR ・ 株価



PER

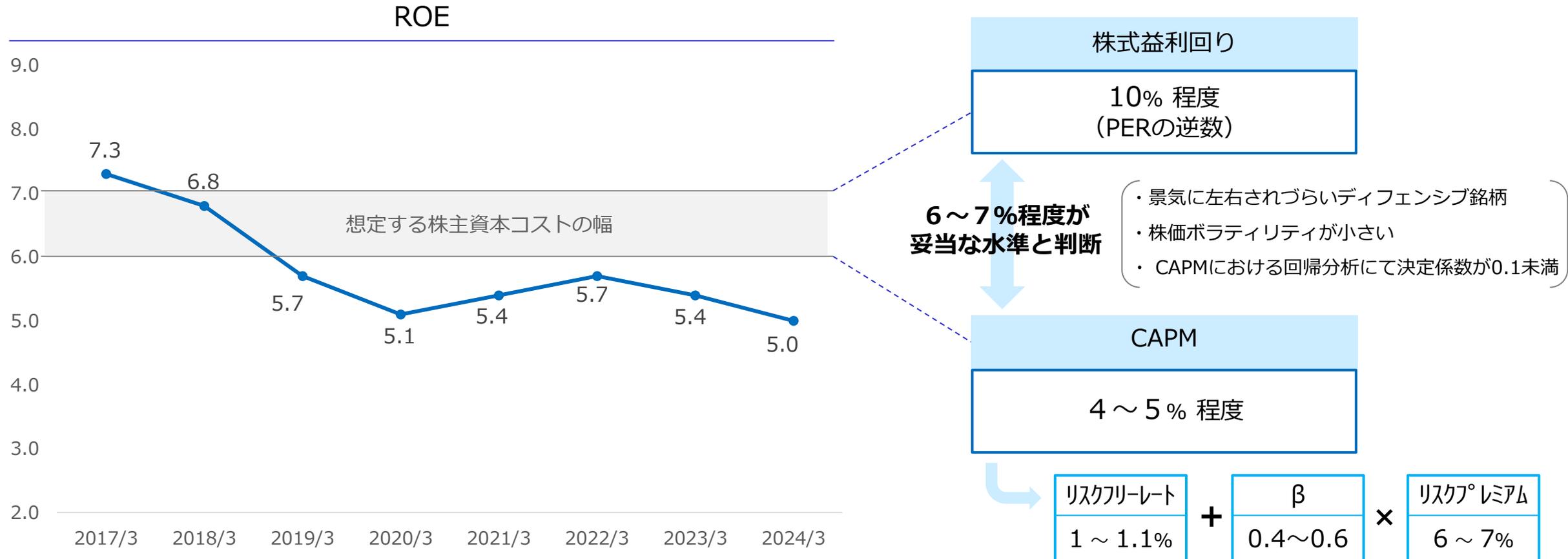


- CAPMと株式益利回りに基づき当社の株主資本コストを算出

▶ 当社の株主資本コストは、6~7%程度と認識

- 2019年以降、ROEが株主資本コストを下回る水準で推移 (PBRが1倍割れとなった時期と一致)

▶ 株主資本コストを低減しつつ、それを上回るROEを目指す



現状分析 (ROEの分析)

ROE

=

売上高純利益率

×

総資産回転率

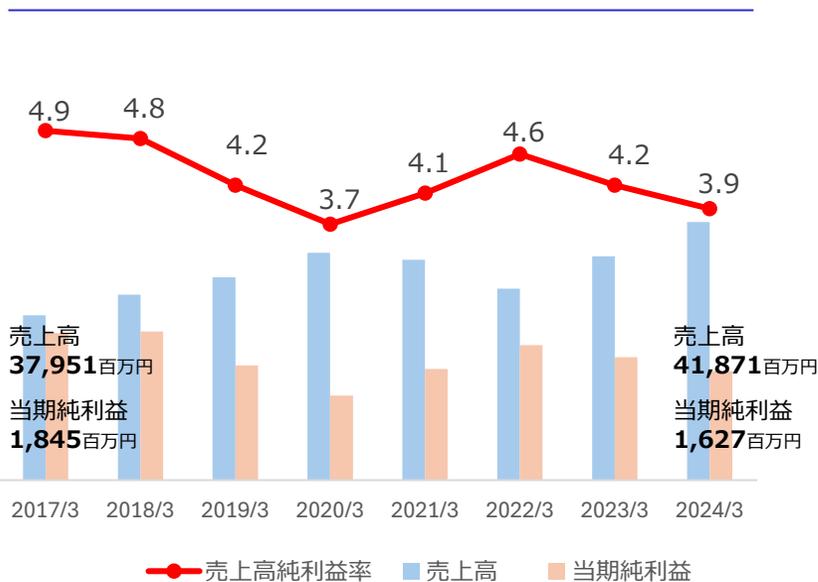
×

財務レバレッジ

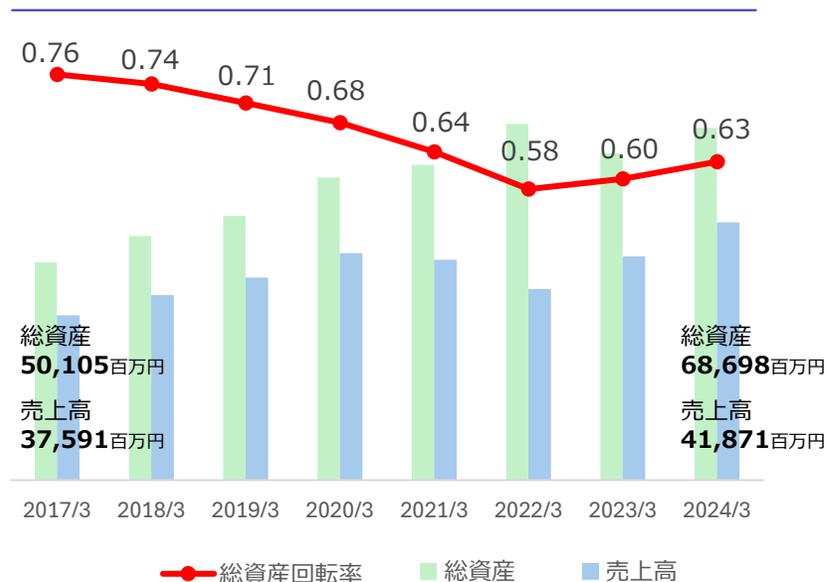
継続した増収傾向の中で、利益成長の停滞による利益率の低下と総資産の増加による回転率の低下が、ROEを押し下げる要因となっている。(財務レバレッジは2倍前後で安定的に推移し、適正な自己資本水準を維持)

ROEの向上に向けて、収益性とバランスシート双方の改善が必要

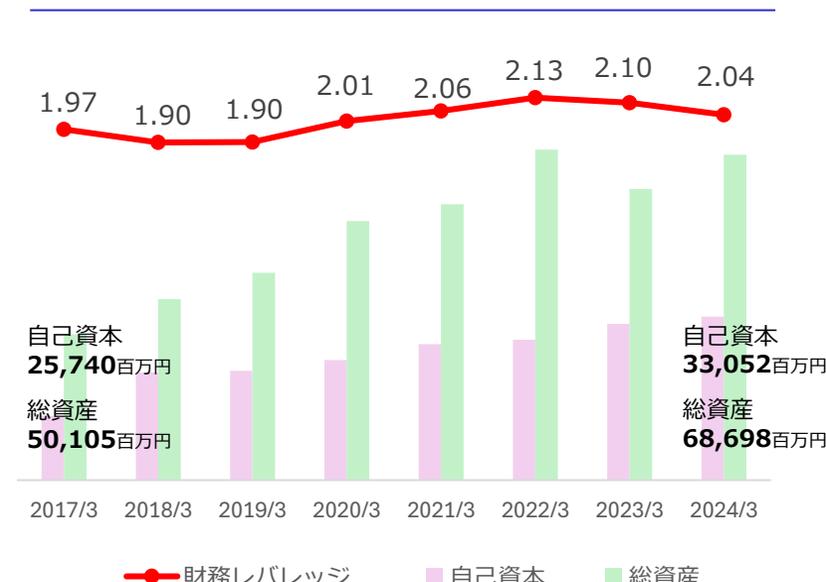
売上高純利益率



総資産回転率※1

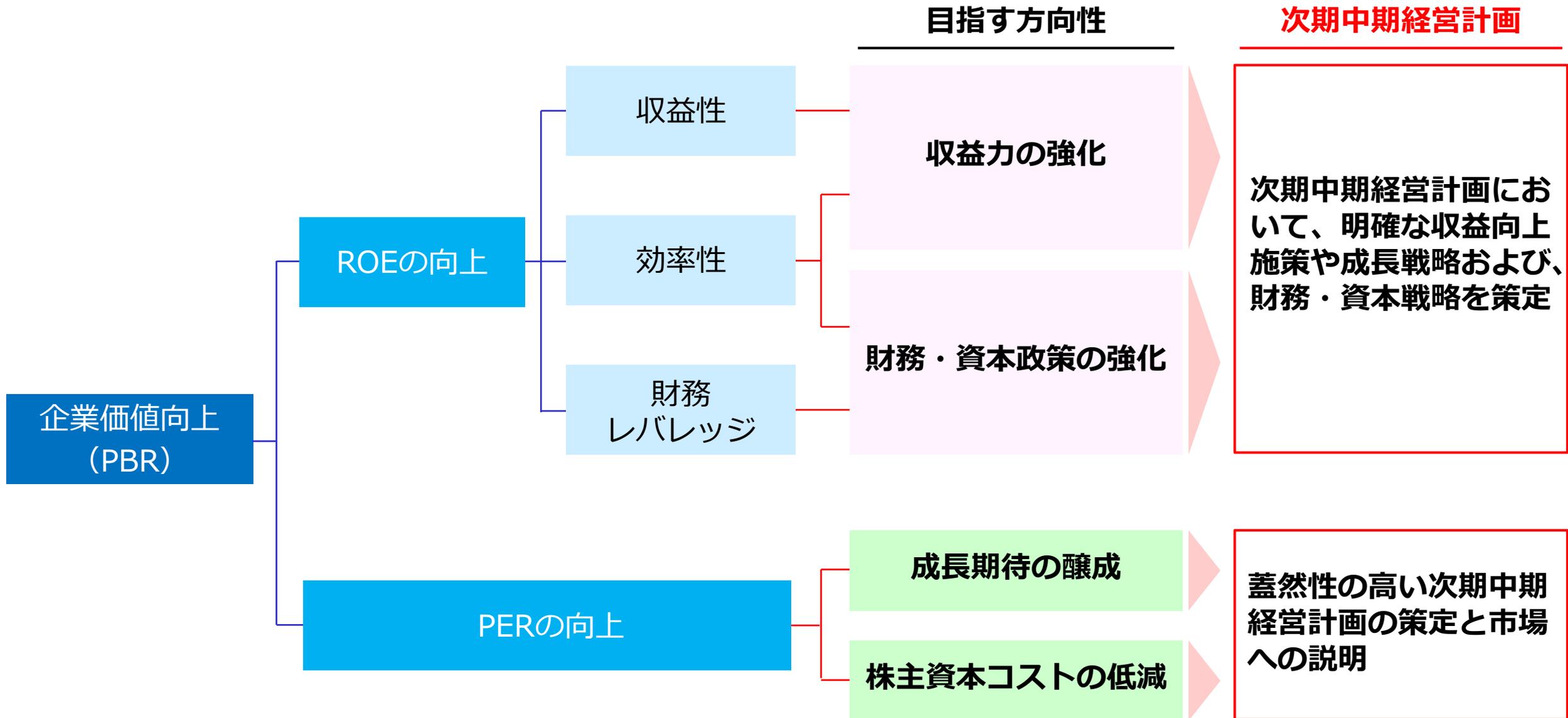


財務レバレッジ※2



※1 総資産は期中平均で計算

※2 自己資本、総資産は期中平均で計算



目指す方向性

具体的な取組み方針と現在の主な取組み

収益力の強化

- ◇ 印刷包材事業の構造改革 → 工場再編の推進、コスト削減
- ◇ 高付加価値製品の拡充 → 開発力強化、アサヒスマートカラー推進
- ◇ ラベル事業の拡大 → RFIDラベル、機能性ラベルの拡充
- ◇ 包装システム販売事業の加速 → エンジニアリング機能の強化
- ◇ 海外事業の推進 → 新工場（i-Tech Valley）の建設
- +α 新規事業、新市場進出の検討

財務・資本政策の強化

- ◇ 政策保有株式の縮減 → 縮減方針※に沿った推進
- ◇ CCCの向上 → 棚卸資産の適正化推進
- ◇ 株主還元の拡充 → 幅広い還元方法の検討
- ◇ グループ全体のキャッシュマネジメントの確立

成長期待の醸成

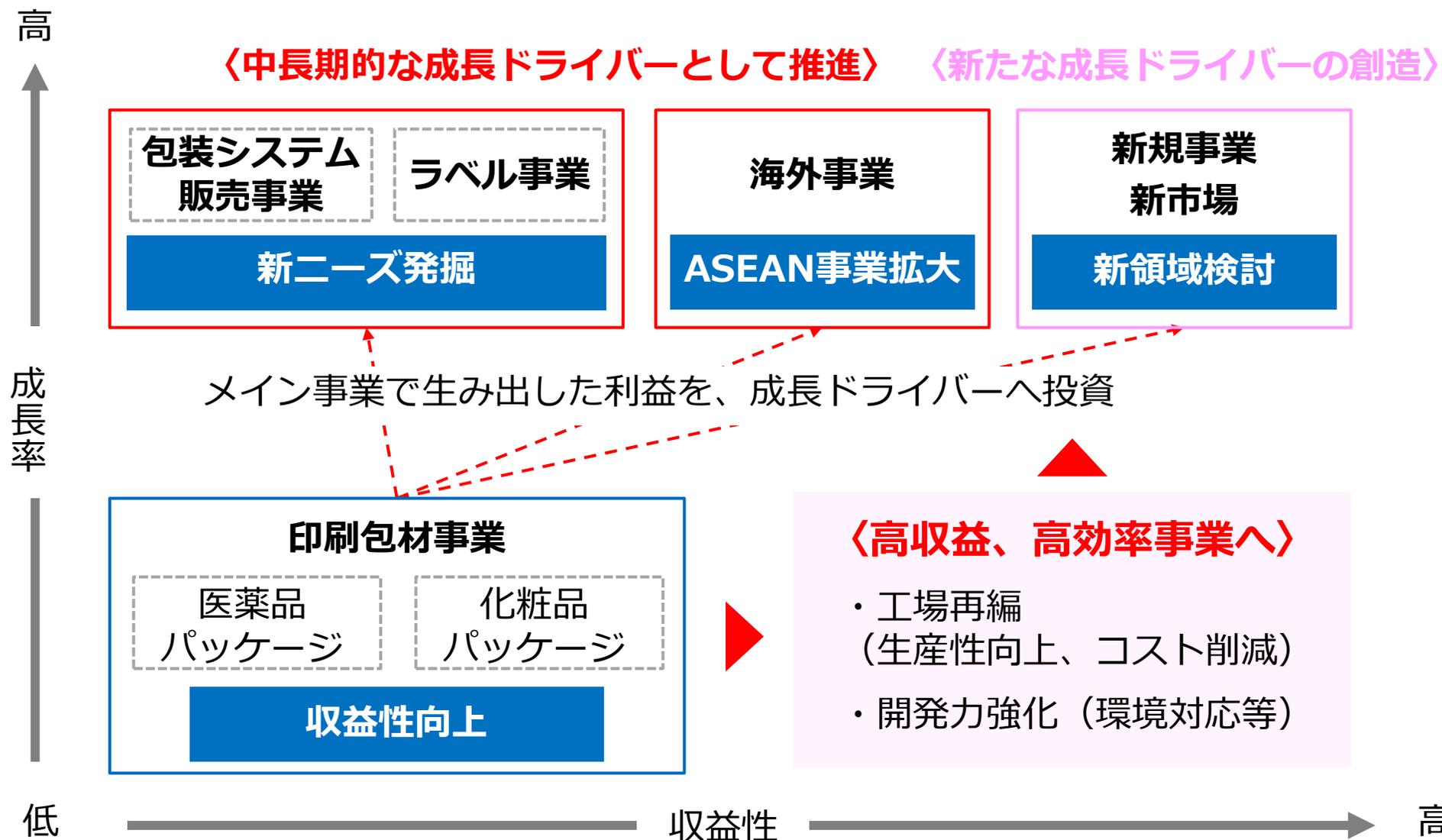
- ◇ IR活動の強化 → 発信力の拡充
(投資家向け説明会、会社HP刷新)

株主資本コストの低減

- ◇ 人的資本経営の推進 → 人材育成の強化、働き方の見直し

※ 2024年11月11日付当社プレスリリース「政策保有株式の縮減に関するお知らせ」
(https://www.asahi-pp.co.jp/img_sys/information/412/412.pdf)

- ・メイン事業の収益性向上と成長ドライバーへの投資・育成で経営資源を最適化





ASAHI PRINTING CO.,LTD.